

飯田高校同窓会報

第 25 号

発行人 長野県飯田高等学校同窓会長 松下逸雄
編集人 馬場 徹
印刷所 飯田共同印刷

昭和60年度 定期総会開かる

昭和六十年八月十八日午後一時より、約百名の同窓会員出席のもと同窓会館三階に於いて開かれた。立秋から旬日が過ぎたというのに残暑厳しく会員の暑さを慮る姿も多数、窓外には鉄筋コンクリート四層建ての校舎の建設が盛ん。新校舎完成の暁には、幾多の同窓生を輩出した、威風堂々の旧校舎も解体される運命にあると聞く。定刻午後一時、高安副会長の開会の辞により開かれる。ついで物故会員への黙禱一分間の静寂、鎮魂の後松下同窓会長の挨拶、型破りの挨拶はいつも乍ら新校舎建設に漕ぎつけたいきさつ、中四十四回同



総会より

窓会に出席した話、又最近の母校の大学合格者の低下に言及し、先生方のご努力を要請、最後に母校の充実の為に尚奮闘する事を誓い、一連の事業

私は、去る八月十八日午前の幹事会において、会長に推薦され、同日午後の定期総会の席上にて承認されました。従いまして、五期目の会長に決定致したのであります。この間、私は、後輩が安心して、勉学に、体育に、勤むことの出来る環境づくり、即ち、校舎や、体育施設の整備拡充等のために、鋭意努力致してまいりました。現校舎の内部塗装から始まり、校舎屋上の雨洩れ防止工事、講堂の屋根ふき替え、各室窓の硝子サッシ戸に入れ替え等。又、昨年度は、大体育



ご挨拶

同窓会長 松下逸雄

の長さは九七米で、一棟としては県下最長の校舎にて、見事な威容を高校の原頭に現します。同窓会の本年度事業は五年毎に改訂する、会員名簿を発行することでありまして、会の運営

す。印刷発行については飯田共同印刷と、二〇〇冊、一五〇〇万円です。印刷費は、この原資は、会員一人年間二〇〇円の維持会費の中より抽出して、昭和五十九年度末迄に、一三〇〇万円の特別基金の積立が会員皆様の誇りとすところとあります。私はその先頭に立って、全ての面で努力してまいります。残り二〇〇万円は、六十年度に特別会計として、これに補足より一層の御協力をお願い致します。最後に、会員皆様の

完成の暁には同窓会長の職を辞したいかの印象を与えて、挨拶を締めくくります。北村校長から当母校の近況報告がある。在学生の内三分の一の四二一名が女子学生である事を聞き、時代の変遷に驚く。又登校拒否学生が散見されるを知り、高校の義務教育化も頷ける。終わって松下同窓会長の議長により、議事に入る。会務報告、昭和五十九年度決算承認、昭和六十年年度予算承認と型通り進み会員名簿の発行と配布について、羽生事務局長より詳細な説明あり、一同了承。(七千部発行、一五〇〇万円の予算)、ついで役員改選の議題が提出されたが、すでに幹事会に於いて役員全員の留任が議決されているので議場一致で承認される。新役員のもとで尚一層の同窓会発展が約束されよう、と共に母校の充実も約束されよう。一同窓会

振り返ってみますと、恐らく人類の誕生と共に医療というものは行われたいと想像されます。薬草とか出産の場合とか、経験的に次々に子孫に伝えられたらうと思われれます。しかし医学というものは、相応しいものになったのは、医学の父として尊敬され、「生物は自然治癒力を持っている。それを医師は助長してあげるのだから医学の本道である。医師は身を慎んで人間の生命の尊厳に對し畏敬の念をもって臨まなければならぬ」と説いたヒポクラテスのでたギリシャ時代であります。当時はまだ未熟ではありましたが天文学、化学、その他の学問を学びとり入れて徐々に進み、ローマ時代に上下水道が完備したのは疫病に對する人間の知識のあらわれかと思えます。中世に入りまして、欧州でペスト、天然痘など疫病が蔓延し、人類はそれと戦った歴史があります。この天然痘に關しては約二百年前にジェンナ

が種痘を完成し、現在は地球より影をひそめております。このジェンナの業績は医学の歴史からみて大変すばらしく、今日のワクチン療法は先驅をなすものです。近代医学と呼ばれるものは約五十年前頃、顕微鏡が出てきて、疫病は細菌によっておこること、人間の体は小さな細胞からできていることがわかり、病気を細胞のレベルで考えようという立場が生まれてきた頃からあります。その後、一九二一年にペニシリンが発見され、その後から沢山の抗生物質がでて、病気が大変なおこしたわけであつたわけでありました。

我々生物は親から遺伝子をもつて生まれ、他人と違う性質のある個人、個体を造りあげているのです。その個体の中で最も基本的で大事なものは二つの性質だと言われています。一つは「ホメオステージス」といって体の中のあらゆる機能を総動員して自分のおかれている内部の状態を常に一定に維持しようという性質。もう一つは「自己と非自己の認識」といって、親からもらった体と他人とは違うという認識です。免疫といわれる現象はまさにこれの例であり、他の細菌が入ってきたらこれを排除しようとする機構です。こういうものをもちながら、この生まれ

ん成長し、年をとっていく過程の中に病気がおこってくるわけです。それは遺伝子が大きな役割を果たしている遺伝病と、環境が大きく働く病気で、後者は、事故、けがなどによる病気とか、疫病など抗生物質ではほとんど治る病気とかです。それで、日常の中で問題となるのは、遺伝と環境とが結び合っておこってくる複雑で治しにくい病気がかりになってきたことです。ペニシリンの出現を境に病気が大きく変わってしまつたのです。

糖尿病はこれの典型的な疾患です。その他に高血圧とか動脈硬化とか、特に成人病といわれているような現在の病気がこれに入ります。これらは経済や文化や社会の発展という、我々人類が是としてきたものと結びついて起こってくるような環境の中で徐々に多くなつていく病気なのです。これはいかに人間として知恵のないことで、我々はいかに上手に病気にならずに健康に生きるかを考えねばなりません。その中で一番基本になるのは過食と運動不足で、これが肥満をおこし、成人病の死亡率を高めています。ちょっと病気の要請とは違いますが、中年以降の健康法として貝原益軒の養生訓に、「十二分に嘔吐すな。糞は溜めるな」というのがあるそうです。ある方は「頭と足を使え」と言っています。

生と死の問題 とう一つは、医学が非常に進歩し、医療の形が変わりましたので、非常に大きなことが起こりました。「死」というものをどのように考えるかという問題です。それは脳死の問題や、臓器移植の問題、安楽死といったこととです。医師が生と死の支配者では困る、という問題がでてきたわけですが、それは医師や法律家や哲学者だけが決める問題ではなくて、国民がどのように考えるかによっておのずから結論が出るということになっております。どうも長時間ありがとうございました。

病氣について 我々生物は親から遺伝子をもつて生まれ、他人と違う性質のある個人、個体を造りあげているのです。その個体の中で最も基本的で大事なものは二つの性質だと言われています。一つは「ホメオステージス」といって体の中のあらゆる機能を総動員して自分のおかれている内部の状態を常に一定に維持しようという性質。もう一つは「自己と非自己の認識」といって、親からもらった体と他人とは違うという認識です。免疫といわれる現象はまさにこれの例であり、他の細菌が入ってきたらこれを排除しようとする機構です。こういうものをもちながら、この生まれ

ん成長し、年をとっていく過程の中に病気がおこってくるわけです。それは遺伝子が大きな役割を果たしている遺伝病と、環境が大きく働く病気で、後者は、事故、けがなどによる病気とか、疫病など抗生物質ではほとんど治る病気とかです。それで、日常の中で問題となるのは、遺伝と環境とが結び合っておこってくる複雑で治しにくい病気がかりになってきたことです。ペニシリンの出現を境に病気が大きく変わってしまつたのです。

我々生物は親から遺伝子をもつて生まれ、他人と違う性質のある個人、個体を造りあげているのです。その個体の中で最も基本的で大事なものは二つの性質だと言われています。一つは「ホメオステージス」といって体の中のあらゆる機能を総動員して自分のおかれている内部の状態を常に一定に維持しようという性質。もう一つは「自己と非自己の認識」といって、親からもらった体と他人とは違うという認識です。免疫といわれる現象はまさにこれの例であり、他の細菌が入ってきたらこれを排除しようとする機構です。こういうものをもちながら、この生まれ

ん成長し、年をとっていく過程の中に病気がおこってくるわけです。それは遺伝子が大きな役割を果たしている遺伝病と、環境が大きく働く病気で、後者は、事故、けがなどによる病気とか、疫病など抗生物質ではほとんど治る病気とかです。それで、日常の中で問題となるのは、遺伝と環境とが結び合っておこってくる複雑で治しにくい病気がかりになってきたことです。ペニシリンの出現を境に病気が大きく変わってしまつたのです。

我々生物は親から遺伝子をもつて生まれ、他人と違う性質のある個人、個体を造りあげているのです。その個体の中で最も基本的で大事なものは二つの性質だと言われています。一つは「ホメオステージス」といって体の中のあらゆる機能を総動員して自分のおかれている内部の状態を常に一定に維持しようという性質。もう一つは「自己と非自己の認識」といって、親からもらった体と他人とは違うという認識です。免疫といわれる現象はまさにこれの例であり、他の細菌が入ってきたらこれを排除しようとする機構です。こういうものをもちながら、この生まれ

小坂樹徳(きのり)先生は座光寺の出身。昭和十四年飯田中学校第三十八回卒業、旧制松本高校より東大医学部、同大学院卒業後、定年退官まで、東大医学部第三内科主任教授。現在は虎の門病院長。東大名譽教授。医学博士。糖尿病の権威者である。日本学術会議会員。

医師と患者の関係 このように疾病の変化によって医師と患者の関係はどのように変わってきたでしょうか。現在三つのタイプがあります。第一は患者と医師の医学的知識の差が大きいので医師に裁量権を認めるといふ考えです。例えば、いと親と生まれたばかりの赤坊の関係をいわれております。二番目は、医師は患者に色々説明しこれに従ってもらう。親と幼児の関係をいわれております。三番目は、成人と成人の付き合いです。例えば高血圧になった場合、これはどうして起こってきたかどんな病気を患っているか説明して納得してもらい、質問があればいい、質問があればいい、患者のいうことをよく聞き、患者自身が治療の道を歩んでほしいと思ふのです。多くの成人病はこの第三のタイプで、今後は患者と患者が対等の立場で、お互い理解し信頼し合つて病気に打ち勝つていくようになっていくでしょう。

小坂樹徳(きのり)先生は座光寺の出身。昭和十四年飯田中学校第三十八回卒業、旧制松本高校より東大医学部、同大学院卒業後、定年退官まで、東大医学部第三内科主任教授。現在は虎の門病院長。東大名譽教授。医学博士。糖尿病の権威者である。日本学術会議会員。

小坂樹徳(きのり)先生は座光寺の出身。昭和十四年飯田中学校第三十八回卒業、旧制松本高校より東大医学部、同大学院卒業後、定年退官まで、東大医学部第三内科主任教授。現在は虎の門病院長。東大名譽教授。医学博士。糖尿病の権威者である。日本学術会議会員。

小坂樹徳(きのり)先生は座光寺の出身。昭和十四年飯田中学校第三十八回卒業、旧制松本高校より東大医学部、同大学院卒業後、定年退官まで、東大医学部第三内科主任教授。現在は虎の門病院長。東大名譽教授。医学博士。糖尿病の権威者である。日本学術会議会員。

小坂樹徳(きのり)先生は座光寺の出身。昭和十四年飯田中学校第三十八回卒業、旧制松本高校より東大医学部、同大学院卒業後、定年退官まで、東大医学部第三内科主任教授。現在は虎の門病院長。東大名譽教授。医学博士。糖尿病の権威者である。日本学術会議会員。

小坂樹徳(きのり)先生は座光寺の出身。昭和十四年飯田中学校第三十八回卒業、旧制松本高校より東大医学部、同大学院卒業後、定年退官まで、東大医学部第三内科主任教授。現在は虎の門病院長。東大名譽教授。医学博士。糖尿病の権威者である。日本学術会議会員。

医学の歴史

医学の進歩と疾病の変貌(抄)

虎ノ門病院院長 小坂樹徳(中三八回)

記念講演講師

小坂樹徳(きのり)先生は座光寺の出身。昭和十四年飯田中学校第三十八回卒業、旧制松本高校より東大医学部、同大学院卒業後、定年退官まで、東大医学部第三内科主任教授。現在は虎の門病院長。東大名譽教授。医学博士。糖尿病の権威者である。日本学術会議会員。

工学者特集

国鉄入社後の思い出

中28回 高坂紫朗



高坂紫朗氏

私は生来筆不精で余り文章を書いたことがないですが、昔学校を終わって世の中に出た頃、私にとって忘れられない思い出がありますので、それについて少し書いて見ようと思います。

私が東大を出るまでは思い残るようなことはありませんが、私が東大を卒業する二ヶ月位前に、各社の入社試験があったのでした。私が卒業するときは、二年位前から国鉄(当時の運輸省)に入りたいと考えておりました。卒業の一ヶ月位前にその入社試験なるものがあり、その入社試験も筆記試験でなく、当時の局長クラスの人の口答試験でありました。試験官は私を一人個室に呼び、「AとBを結ぶ鉄道予定線が山の中を通る所謂山線と、主として海岸を通る海岸線とがある。どちらの線路延長も建設費も又将来の運転費も全く同額としたら君はどちらの案をとるか」との質問であった。私は郷里の伊那から東京へ出るにも、名古屋に出るにもいづれもトンネルの多い線路を通り、車内は煙(当時はい

づれも電化されていなかった)で鼻の孔も顔中真黒になった記憶がよみがえり、私は「海岸線をとります」と答えた。「何故か」との質問に対し、「山中を通った場合は、列車の煤煙で車内がまっくらになり、非常に気分が悪くなり、乗っている客が景色のいい海岸線の方をよろこびます」と言った。その口頭試験が終わって出て来てから、私の知っている先輩の一人にききましたところ、「この試験官は星野さん(既に逝くなった)という方で、トンネル工事の大家なんだよ」と言われ、あれはいけない。駄目だろう」と観念したものであった。それから数日にして鉄道省から採用の通知をもらい、家中よろこんだものでした。数日にして星野さんのところへ挨拶に参りました時星野さんは私の顔を見るなり「君は高坂君だったね。国鉄を希望する人は先ず乗客のことを考えないと駄目だよ。これからもしっかりやり給え」と言ってくれた。

それから数日して鉄道省に行くことになり、しばらく星野さんのところで事務の手伝いをしながら業務を覚えたいのだが、それがすんだ頃今度は、関門トンネルの現場に行けということだ。これは

われ思う 学問と人生

中29回 須田清久

新しい工法の主なものには圧気工法、シールド工法などあり、その材料も今まで全く使われていなかったもので、私も部下たちと一緒に作り直した。この関門トンネルの話を書きはじめると原稿用紙が何枚あっても足らなくなるので、この位にしておきます。

彼が歴史の本を読んでつくづく考えた。理想の実現は理論どおりにやっても駄目。また早急に行うのでなく、長い期間をかけてねば大成するものではない。

えながら歩くので時間は少々かかるが間違いなく到達する。結局一番早く目的地に着いたのはイギリス人であった。

彼が歴史の本を読んでつくづく考えた。理想の実現は理論どおりにやっても駄目。また早急に行うのでなく、長い期間をかけてねば大成するものではない。

彼が歴史の本を読んでつくづく考えた。理想の実現は理論どおりにやっても駄目。また早急に行うのでなく、長い期間をかけてねば大成するものではない。

彼が歴史の本を読んでつくづく考えた。理想の実現は理論どおりにやっても駄目。また早急に行うのでなく、長い期間をかけてねば大成するものではない。

彼が歴史の本を読んでつくづく考えた。理想の実現は理論どおりにやっても駄目。また早急に行うのでなく、長い期間をかけてねば大成するものではない。

兄の大学生は歴史の本を読んでつくづく考えた。理想の実現は理論どおりにやっても駄目。また早急に行うのでなく、長い期間をかけてねば大成するものではない。

彼が歴史の本を読んでつくづく考えた。理想の実現は理論どおりにやっても駄目。また早急に行うのでなく、長い期間をかけてねば大成するものではない。

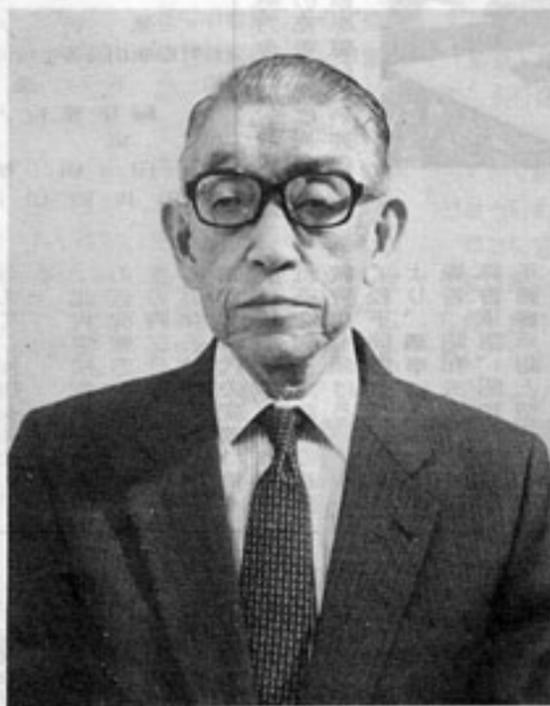
えながら歩くので時間は少々かかるが間違いなく到達する。結局一番早く目的地に着いたのはイギリス人であった。

彼が歴史の本を読んでつくづく考えた。理想の実現は理論どおりにやっても駄目。また早急に行うのでなく、長い期間をかけてねば大成するものではない。

彼が歴史の本を読んでつくづく考えた。理想の実現は理論どおりにやっても駄目。また早急に行うのでなく、長い期間をかけてねば大成するものではない。

彼が歴史の本を読んでつくづく考えた。理想の実現は理論どおりにやっても駄目。また早急に行うのでなく、長い期間をかけてねば大成するものではない。

彼が歴史の本を読んでつくづく考えた。理想の実現は理論どおりにやっても駄目。また早急に行うのでなく、長い期間をかけてねば大成するものではない。



今なお思索にふける須田清久氏

支部をめぐり

東京

在京の飯田高校同窓生は、五千人を超える、年々増加する。そこで総会の前に各期の代表者からなる評議員会を開いて、開催場所、会費、案内等の打合せを行い、前回の実施している講演をどなたにお願いするか等、いろいろな意見がある。

総会の開催は昭和五十九年十一月九日、東京青年会館において、出席者一五五人、秋山平吾、寺田栄、早川耐三の三先生と

母校から北村純校長(中44)の参加を得て盛大裡に開催された。

母校から北村純校長(中44)の参加を得て盛大裡に開催された。



記念講演

母校から北村純校長(中44)の参加を得て盛大裡に開催された。

母校から北村純校長(中44)の参加を得て盛大裡に開催された。

母校から北村純校長(中44)の参加を得て盛大裡に開催された。

母校から北村純校長(中44)の参加を得て盛大裡に開催された。



校歌斉唱 右より野原副会長・吉江会長

以上は講演の聞き覚えであるから筆者の聞き違いや筆たらずの点はご勘弁を願います。

この講演を期に同窓生の何人かが虎ノ門病院に通院あるいは入院して、小坂先生により、直接治療を受けられたと聞きまわりました。本当に有難いこと、憎悪ながら同窓生一同に成り代って御礼申し上げるとともに今後とも一層のご交誼をお願いする次第です。

在京飯田高校同窓会 事務局 佐々木直記

学園だより

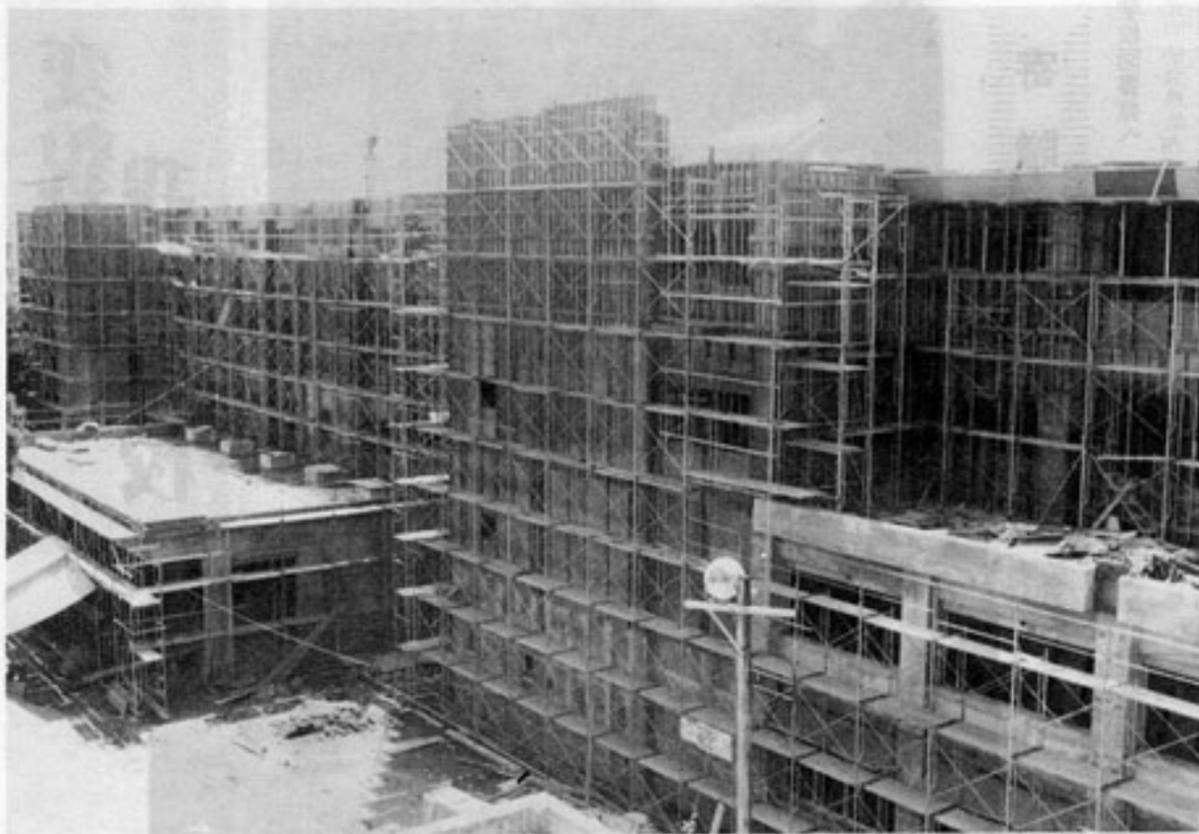
第一校舎建設進む!!

昨年着工した第二校舎の建設工事は現在順調に進んでいる。この夏の猛暑の中で工事音、砂ほこりに悩まされつつも新校舎の完成を心待ちにしている。

校舎は来年二月完成、三月引越、四月より使用開始の予定である。また講堂前の倉庫、編集室は撤去され、新たに北体育館より新校舎までの渡り廊下が完成した。ここまでに至った関係各位の多大なご尽力に深く感謝を申し上げます。

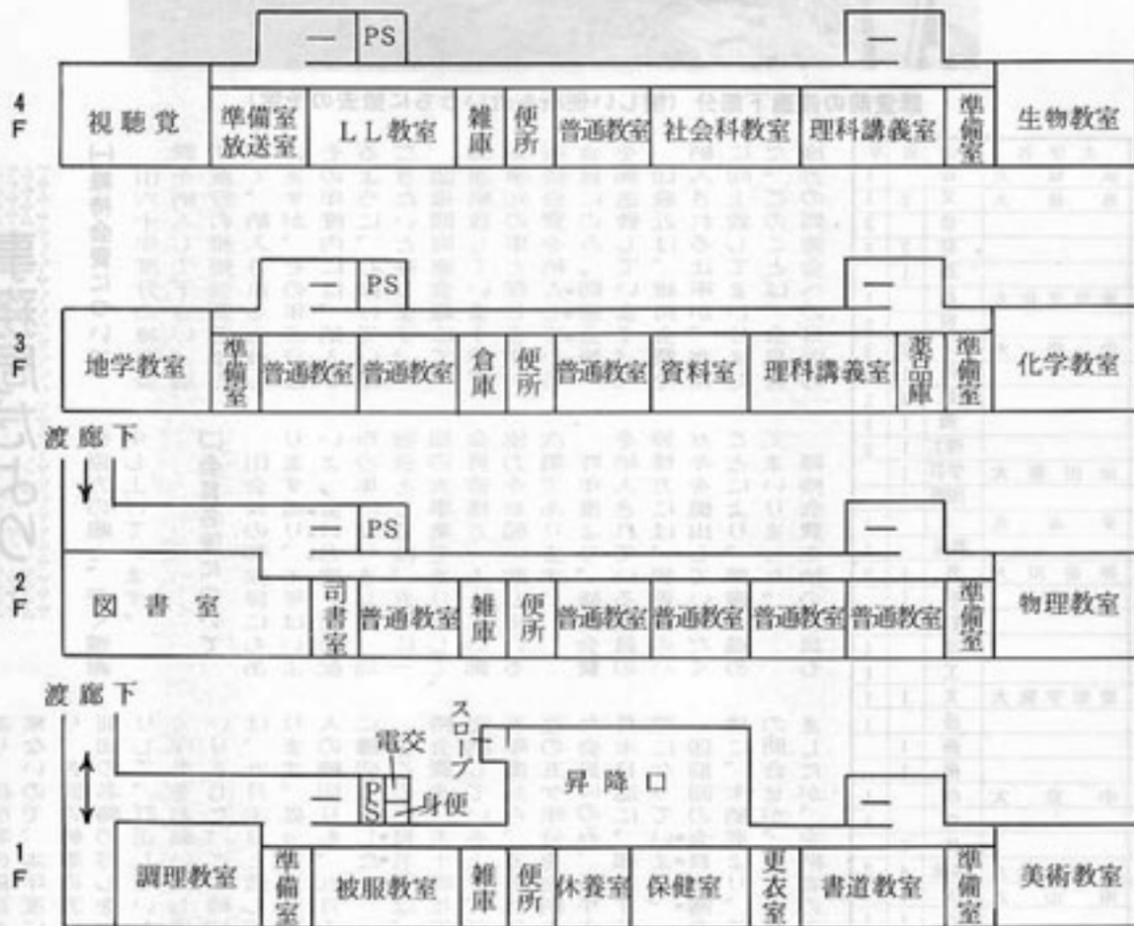
第二校舎(混合教室棟) 室の広さ)約四千五百㎡は現在四階までの躯体のコンクリート打ち込みが完了し、内装設備工事中に入っている。

校舎は四階建延九十九スパン(二スパンが普通教



完成が待ち遠しい第2校舎

飯田高校混合教室棟平面図



図は第二校舎平面図

クスなハイモニカを採用した。そして四階までは二つの階段室によって結ばれる。特筆すべきは身障者用として各種の配慮がなされていること、昇降口にはスロープが、一階西側よりにはトイレが専用で設けられる。

今後内装設備、機器の充実に向けて更に検討が重ねられている。

(各階の教室等の配置は図の通りである)

完成後は白亜の巨大な姿が段丘にそびえ、伊那谷の眺望をほしいままにする。

活躍 各種全国大会

お見事準備優勝!!

— ホノルル市長杯 英語弁論大会 —



柴田さん談

柴田珠名さん(2年)寫真)は過日大阪府で行われたホノルル市長杯英語弁論大会で「二つのアフリカ」と題する英語弁論を発表、全国から集まったミッショーン系高校生を含む強豪の中から見事準備優勝を勝ち取りました。内容は現在飢えに苦しむアフリカの人々に対して我々がすべきことについてでした。

この弁論大会に出ようとした動機は、ためでもともと。でもちょっとおもしろそうだからやってみようか、というくらい

Challenge!!

全国高校 総体だより



力走する塚田君

陸上班

八月一日から開催され陸上、卓球の二班より出場、各健闘した。

塚田君談
予想もなかったが、インターハイで決勝まで残れるとは思わなかった。地区予選までのベストタイムでは、出場選手中、四十六番目だったから良かったし、緊張しっぱなしのインターハイだったけど、いい思い出になった。

将棋班

八月九日、十日の両日、神戸市文化体育館に於いてユニバーシアードにさきがけて開催されました。本校は団体戦に吉川幸宏(3年)村雅俊(3年)林秀行(3年)の三名が出場、残念ながら一回戦福岡県西南学院に惜敗。三対〇ではあったが、いずれも勝機がなかったわけでなく惜しまれた試合であった。来年は全国大会出場は当然と見て全国でどれだけ戦えるかが課題である。

卓球班

卓球・八月一日〜六日、石川県鶴巻町で行われ、本校より男子Wに牛山・馬島君が出場しました。これまでのうちで一審

(本校) 牛山(18-21) 戸田(愛媛) 馬島(19-21) 山内

放送委員会

学校放送の分野において、六月「NHK杯高校放送コンテスト長野県大会」が長野で行われた。

当校放送委員会もこれに参加、結果は次の通り。

最優秀賞(題「悪しき伝統」)

アナウンス部門 準入選(2D原田季巳)

飯高 昨今

▼ここ数年本校にも外国からの留学生が訪れています。この夏はアメリカとオーストラリアから女性が生徒になりました。なか



かの美人で(写真はウェンディさん米田)日本の印象は「とてもすばらしい経験ができました。日本の人、内気ですね、でも大変親切にしてくださいました是非訪ねたいです」というものでした。本校からも毎年数人が主にアメリカへ行っており、若者がどんどん海外へ出て行く時代になってきました。

▼女生徒が増え、全生徒一七六名中四二一名で約三六%を占めておりますが、昔の男生徒ばかりだった頃の質実剛健の気風は大きく様変わりを感じます。昔は一人や二人は個性的な俗にいう変わりものが居た頃に比べますと、個性的な生徒の育ち難い社会風潮なのでしょうか。

▼本校は県下でも長い歴史と伝統を持っているがいよいよその節目がやって来たような感じがします。管理棟の南東に四階建ての素晴らしい校舎が来年の三月には完成。

外観が立派でも中味が問題です。投資に対する効果は如何なるものでしょうか。飽食期に生まれて育った子供達の教育は至難の術だ。パーキンソンは建物を施設をよくすれば生徒は悪くなるという説がある。

